



第10回 「薬が創られ届くまで -脳発達障害の幹細胞研究を例に-」

日時	2021年12月18日（土） 14時00分～15時30分
講師	小野田 淳人 山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部薬学科 助教 名古屋大学医学部附属病院 客員研究員
講義概要	薬ってすごいですよね。 苦しい病気をたちどころに治し、健康な体を取り戻す手助けをしてくれます。 そんな薬ですが、身近にありながら、一体全体これは何なのか？ どのようにして生み出されたのか？ どうして何も知らずとも安全に使えるのか？ そう問われて答えられる人は多くありません。そこで本講義では、この世に存在していなかった薬が創られて、皆様の手元に届くまでの一連の流れを紹介します。特に、私の研究対象である神経発達障害の、幹細胞治療薬の開発に向けた研究も例にして、お話しする予定です。医学薬学に関して詳しくない方にも分かりやすく説明しますので、ぜひとも気軽にいらしてください。
参考図書	『革新的医薬品の科学 薬理・薬物動態・代謝・安全性から合成まで』 (化学同人, 2017年12月) Jie Jack Li (著), Douglas S. Johnson (著), 只野 金一 (翻訳)